

第5学年〇組 道徳科学習指導案

令和2年〇月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

1 主 題 名 友達のために B 友情

2 本時のねらい

- 友達との関わりについて考えながら、友情を育もうとすることができる。

3 準備・資料

- 教材名「ロレンゾの友達」
- 教師・・・挿絵

4 学習指導過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
導 入	1 価値への方向付けをする。 ○ あなたが友達だと感じている人は、どんな友達ですか。 ・一緒に遊んでくれる友達 ・困っているときに助けてくれる友達	3	○いくつか発表させることで、本時の価値への方向付けをする。 ○普段友達とどんな風に関わっているのか、自分がどんな人を友達だと思っているのか押さえる。
展 示	2 本教材を読み、内容について話し合う。		○ 範読をし、あらすじを確認する。
	夜中にロレンゾが訪ねてきたら3人はどうすると考えていましたか。		
	<アンドレ> ・逃がす。 ・捕まったらかわいそう。 <サバイユ> ・自首を勧める。 ・本人が納得しないなら逃がす。 <ニコライ> ・自首を勧める。 ・本人が納得しなくても警察に知らせる。	13	○3人の考え方の違いを押さえ、意見を発表させる。 ○3人が思い悩んでる様子が読み取れるように挿絵を掲示する。 ○それぞれの行動と思いを視覚化することで簡単に内容を把握させる。 ○共通する部分や違う部分を板書で整理し、捉えさせる。
	友達としてよりふさわしい順位に並べてみましょう。		
開	○自分の考えをワークシートに書く。 ○隣の席の児童と意見を交換する。 ・自首を勧めて、納得してないなら逃がすサバイユが一番友達としてふさわしいと思う。一番ロレンゾのことを考えているように感じる。 ・自首を勧めて、警察に連れていくニコライが一番友達思いだ。警察に連れていくことは辛いことだが、それをやってこそ本当の友達だと思う。	25	○順位を考えさせることで自分の考える友達について考えさせたい。三つの行動を順位付けし、理由を話させるようにする。 ○友達のことを考えて逃がしてあげるのは良いことなのかと問いかける。 ○3人の考え方は違っていても、ロレンゾを思う気持ちは同じということを押さえる。 ○順位について考えさせた後、実際に自分だけだっただけなのかどうか投げかける。 ○自分の考えと、実際の行動とは異なる児童も多いことを確認した上で、次の発問につなげる。 ○自分では分かっているけど行動に移しにくいという発言が出てきたら、その点についても話し合い、中心発問へつなげていく。

